



日本建築家協会(JIA)金曜の会トークイベント

建築の継承：建築史料を通して 米国議会図書館の事例を中心に

【講師】中原まり／米国議会図書館司書・学芸員

建築がスクラップ&ビルドではなく、リノベーションにより継承される時代になり建築史料の重要性が増しています。今回のトークイベントは日本における建築アーカイブズの先駆者で、現在は米国議会図書館司書・学芸員を努める中原まりさんにお話を伺います。

中原まり “日本国内でも過去十年程にわたり建築史料の保存が進んできました。一方で、収集の指標や目的は未だ明確にされていません。今回は米国議会図書館の事例を中心に、収集法、建築史料利用の現況、公開・利用促進への努力を紹介します。また作成者としての建築家たちが自らの作品を将来の遺産として保存するための助言も行いたいと思います。”

- | | | | |
|-------|---------------------------|------|-----------------|
| ■日時 | 2022年11月4日(金) 19:00~21:00 | ■主催 | JIA関東甲信越支部 金曜の会 |
| ■会場 | ZOOMによるセミナー | ■CPD | 2単位 |
| ■参加費 | 無料 | | |
| ■募集人数 | 300人 | ■協賛 | 株式会社建築家会館 |

- 参加方法 参加ご希望の方は、下記アドレス又はQRコードにてアクセスし、必要事項を入力しお申し込みください。

<https://goo.gl/mKpT3V>

※締切:2022年11月3日(木) 24:00



中原 まり NAKAHARA Mari

1994 東京都立大学大学院工学研究科博士課程修了
1996-1997 コロンビア大学建築アーカイブ並びにニューヨーク近代美術館建築・美術部にてアーカイブ研修(フルブライト若手研究員並びに文化庁派遣芸術家在外研修員)
2000-2003 ニューヨーク公共図書館、スカイスクレーパー・ミュージアム等に勤務
2003-2007 アメリカ建築財団建築資料部コレクションマネージャー
2007- 米国議会図書館司書・学芸員
2009 Catholic University of America, Master of Library Science修了



■なぜ、そしてどのように建築史料を収集するのか

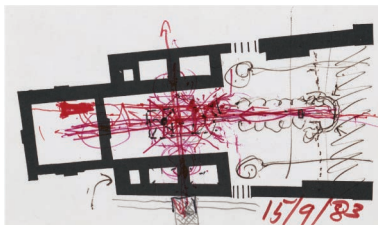
建築史料保存が重要である、という理由の根源を考えたことがありますか?建築史料の全てを保存しておくことが大切かという、そういうわけでもありません。保存する地域、施設などによって、保存すべき資料、その意義も異なってきます。

■どのように整理・保存するのか

建築史料は図面、写真、業務録など多岐にわたり、それらを整理・保存するには、図面の読解力、設計時点から竣工に至るまでの工程の把握、並びに図書館情報学の基本知識が必要となります。建築史料の整理や保管に関しては、資料製作者である建築家たちの協力も必須です。

■史料を有効に利用するために

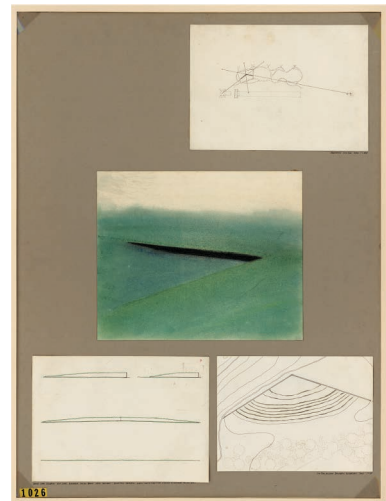
どんな史料でも収集するだけでは意味がありません。それらが有効に利用されてからこそ史料の重要性が高まります。また建築史料館は、一般の人々の建築に対する興味や意識の向上、若年層の建築教育に貢献する役割も果たしています。



Pei, I.M. (1917-2019). *Musée du Louvre renovation, Paris, France. Site plan. Sketch, September 15, 1983.* Ink and marker on paper, LC-DIG-ppmsca-51988.



Marville, Charles (1813-1879). *Notre Dame, Paris, France. View from spire of roofs, statuary, and gable, c. 1860.* Albumen print, LC-DIG-ppmsca-33512.



Maya Lin. *Vietnam Veterans Memorial, Competition drawing, 1980-1981.* Ink, graphite, colored pencil and mixed media on paper, LC-DIG-ds-07040.

